



講師：白井 聡氏

京都精華大学人文学部総合人文学科専任教員。博士(社会学)。専門は政治学・社会思想。2013年に『永続敗戦論－戦後日本の核心』(太田出版)で、第35回石橋湛山賞、第12回角川財団学芸賞、第4回いける本大賞を受賞。

考	平	永
え	和	続
る	憲	敗
。	法	戦
	を	論
		から

立憲主義否定・憲法違反の安保法制制定、国民主権揺るがすTPP協定の強行、福島原発事故の総括なき原発再稼働・輸出への暴走、沖縄の民意無視の辺野古新基地建設押しつけ、そして消費増税と社会保障制度・労働法制のたて続く改悪による暮らしの破壊など、どうしてここまで米国に追従し国民の人権と生活を脅かす政治が続けられるのでしょうか？『永続敗戦論－戦後日本の核心』で一躍脚光を浴びた白井聡さんは、日本が敗戦を否認し、ひたすら対米追従を深めてきたことを「永続敗戦」と呼び、「永続敗戦」こそが今日の日本の矛盾や歪みの原因であると指摘しています。私たちは今、何を直視すべきなのか。どうすれば、この混迷から抜け出せるのか。白井さんの講演を通じて考えます。

2016. **9.25** 日
14:30~16:30 開 場
14:00

会 場 兵庫県保険医協会5階会議室

定 員 200人(要事前申し込み)

参加費 参加費(資料代):500円

主 催 九条の会・兵庫県医師の会

共 催 兵庫県保険医協会、兵庫県民主医療機関連合会、
兵庫県反核医師の会、九条の会・医療者の会(全国)